

名称等	山口源顕彰事業 高校生版画ワークショップ開催
実施日	平成 29 年 6 月 13 日(火)・16 日(金)・20 日(火)・23 日(金)
会場	静岡県立 沼津西高等学校 (芸術科) 沼津市本字千本1910-9 電話 055-962-0345
担当	教育委員会事務局文化振興課 直通 055-934-4812 内線 2792

1 内容

① 概要

戦後の日本現代版画界を代表する作家の一人で、本市にゆかりのある版画家 山口源を顕彰する目的で設けられた「山口源新人賞」の受賞経験者を講師に迎え、高校生を対象とした版画ワークショップを開催します。

② 日程

開催日 平成29年6月13日(火)、6月20日(火) 技法 シルクスクリーン 講師 中村花絵
平成29年6月16日(金)、6月23日(金) 技法 多色木版画 講師 濱田路子
時間 いずれの日も11:40~15:05 (休憩12:30~13:15) の予定
会場 静岡県立 沼津西高等学校 (芸術科)
沼津市本字千本1910-9 電話 055-962-0345
参加者 沼津西高等学校芸術科 1年生15名(木版画) 2年生15名(シルクスクリーン)

③ 説明(事業のねらいなど)

版画家 山口源の顕彰事業としては、山口源賞の授与を中心に据えて事業を行って来ましたが、今年度より新たな試みとして、沼津市における版画芸術の裾野拡大を目指し、高校生版画ワークショップを行うこととなりました。

初の開催となる本年度は、沼津西高校芸術科にご協力をいただき、同校の生徒を対象に開催いたします。

本ワークショップのねらいは、若い世代に様々な版画技法を体験する機会を提供することで、版画の楽しさや可能性を知ってもらい、版画制作や鑑賞に対する興味を喚起し、沼津市における版画芸術の裾野を広げ、ひいては郷土ゆかりの偉大な版画家である山口源への関心に結び付けようというものです。

対象者は当面の間、芸術に興味のある高校生としますが、今後の展開によっては、対象者の拡大も視野に入れていきます。

また、講師には山口源賞受賞者を迎えることで、その知識や経験を、沼津市において芸術を志す若い世代に伝えてもらうことも目的としています。

裏面に続く⇒

2 講師について

中村 花絵（なかむら はなえ）【シルクスクリーン】版画家 女子美術大学講師

平成 27 年度 第 33 回 山口源新人賞受賞

女子美術大学大学院 美術研究科美術専攻修士課程 版画研究領域修了

大学院卒業後は同大学において学生の指導に携わっています

風景写真を基にして版を起こしたものに加工を施し、ディスプレイ画面の様な表現とするシルクスクリーン作品で注目されています

濱田 路子（はまだ みちこ）【木版画】版画家

平成 26 年度 第 32 回 山口源新人賞受賞

多摩美術大学大学院 美術研究科 絵画専攻版画領域 修了

制作活動の傍ら版画講師としても活動し、平成 28 年にはオーストラリア メルボルン大学芸術学部 (Victorian College of Arts) において版画ワークショップの講師を務めました

人物写真を基に版を起こした独特な表現力を持つ木版作品で高い評価を受けています

※今回講師を務めるお二人は、用いる技法は異なるものの、合同で展覧会を企画・開催するなど交流があり、ワークショップに当たっては共同でテキスト製作を行うなど、若い世代や沼津市における版画の振興に積極的に協力してくださっています。

【参考】

○山口源新人賞について

本市では昭和 55 年、沼津信用金庫より文化振興のために受けた寄付金 1,000 万円を原資に、山口源氏の遺作版画を購入すべく予算化したが、昭和 56 年、遺族より山口源氏の遺作 328 点が市へ寄贈されました。

そのため、市では更に市費 1,000 万円を加え「沼津市芸術文化振興基金」を設立し、昭和 58 年、市制 60 周年を契機として山口源氏の偉業を顕彰するとともに、市民の芸術文化の向上発展に資するため、「山口源賞」を制定し、国内版画界において優れた業績を挙げた作家（作品）及び将来性の認められる作品に対して賞を贈呈しています。

「山口源新人賞」は、日本版画協会主催の版画展の出品作品から将来性の認められる作品に対して毎年授与しています。

「山口源新人賞」は新人版画家にとっての登竜門としての地位を確立しており、受賞者は作家として国内はもとより海外でも活躍している方、大学教授として後進の指導に当たっている方など、その多くが美術界で大活躍をしています。

○「山口源」について

1896 年生まれ。本名は山口源吾。

1944 年に沼津市江浦に疎開、以来亡くなるまで江浦で制作活動を続ける。

戦後は日本の抽象木版画の先駆者の一人として活躍し、1958 年スイス・ルガノ国際版画ビエンナーレで「能役者」が日本人初のグランプリを受賞、国際的版画家の地位を不動のものにしました。

1976 年 7 月永眠、享年 79 歳。

1995 年、山口源氏の版画制作に関する遺品が沼津市に寄贈され、アトリエ跡に「山口源の碑」が建立されました。

沼津市民文化センター小ホール緞帳には「能役者」の絵柄が使われています。